

# 3.11 祈りの日

2020年3月11日(水)

18:30開演(18:00開場) 会場:安洞院 本堂 福島市山口寺前5

観覧無料(ドネーション・投銭制)・要事前申込[定員150名] ホームページまたはお電話にてご予約ください。



中村明一(尺八奏者)



紺野美沙子(俳優)



和合亮一(詩人)



沼崎なな香(舞い手)



横山俊顕(安洞院住職)

オープニング・鎮魂の尺八献奏 出演:中村明一

## 第一部・祈りの手紙朗読と海外からの祈り

出演:紺野美沙子 横山俊顕

今回公募した「震災・未来・いのち・ふるさと」をテーマとした「祈りの手紙」を紺野美沙子さんらが朗読する時間です。

「海外からの祈り」では、世界各地で東日本大震災のために祈る人々の思いを共有します。今年ハワイの仏教寺院から、法要「命灯会」の動画やメッセージを紹介します。日系人の皆さまの遙か海の彼方の故郷・福島を想う手紙も朗読する予定です。当日は宮城県気仙沼市のともしびプロジェクトで製作している青いキャンドルを本堂に灯す「命灯会」も行います



主催:3.11 祈りの日実行委員会(安洞院内)  
共催:未来の祀りふくしま実行委員会  
後援:福島市 福島市教育委員会 ※申請中  
協力:命灯会 in HAWAII ともしびプロジェクト・命灯会  
KOREKARA JAPON (スペイン・バルセロナ) HACO NYC (アメリカ・ニューヨーク)  
事務局:〒960-8068 福島県福島市太田町 27-21NPO 法人うつくしまプラチナ内

## 第二部・朗読と芸能の奉納

出演:中村明一 和合亮一 沼崎なな香

詩の朗読と尺八と舞いの共演となります。供養と鎮魂を願う演目が本堂仏前に奉納されます。



お問い合わせ  
お申込みは

<https://www.mirainomatsuri-fukushima.jp>

TEL024-536-3103



どなたでもご自由にご参列、ご焼香いただける慰霊法要です。どうぞみなさまでお参りください。

14:00 虚無僧尺八行列  
2020年3月11日(水) 14:46 東日本大震災慰霊法要(安洞院・祈りの広場)  
16:00 神保政之助追善献奏会(於 普門院、鑑賞無料)  
◆参列無料(受付テントにて募金箱を設置いたします)◆

午後2時から山門より虚無僧行列出発～本堂～慰霊塔前へ  
神保流尺八の祖・神保政之助が眠る安洞院。全国でも珍しい虚無僧尺八行列は見所です。  
午後2時46分より慰霊塔前にて黙禱を捧げ、死者の冥福と郷土の復興を祈る慰霊法要を行います。  
法要後、本堂開場までのふ会館を休憩所として開放し、文知摺観音普門院では神保政之助追善献奏会を開催します。



【虚無僧尺八】

あの日を忘れないための、震災慰霊のために作られた広場  
祈りの広場

# 3.11祈りの日

出演者プロフィール



紺野美沙子 (俳優)

東京生まれ。1980年、慶応義塾大学在学中にNHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」(原作・谷崎潤一郎)では三女・雪子役を好演。硬軟を問わず意欲的に舞台に取り組んでいる。1998年、国連開発計画親善大使の任命を受け、カンボジア・パレスチナ他、アジア・アフリカの各国を視察するなど、国際協力の分野でも活動中。2010年秋から、「紺野美沙子の朗読座」を主宰。様々なジャンルのアートと朗読を組み合わせたパフォーマンスを全国各地で公演している。また、震災翌年より東北応援として被災各県にて朗読座の公演を行っている。祖父は福島県出身。「3.11祈りの日」には昨年朗読に続き3回目の出演となる。



中村明一 (尺八奏者)

横山勝也師、多数の虚無僧尺八家に師事。米国バークリー音楽大学およびニューイングランド音楽院大学院にて作曲とジャズ理論を学ぶ。虚無僧に伝わる古典音楽をライフワークとしながらも、ロックから現代音楽に至るまで幅広く活動。世界40カ国余150都市以上で公演。自ら探しあて極めた日本古来の呼吸法「密息」と、独自に開発した方法による循環呼吸を自在に操る。作曲活動も活発に行い、NHK、ドイツ国営放送など各方面より委嘱作品多数。CD「虚無僧尺八の世界」シリーズにて文化庁芸術祭レコード部門優秀賞。ほか作品にて第19回松尾芸能賞、第18回文化庁舞台芸術創作奨励賞など受賞多数。CD13枚、著書に『倍音』(春秋社)、『「密息」で身体が変わる』(新潮社)他。東京学芸大学、洗足学園音楽大学大学院他で講師も務める。<http://www.kokoo.com>



沼崎なな香 (舞い手)

1998年福島市生まれ。福島市を拠点に活動している日本舞踊の団体、一般社団法人伝統文化みらい協会に所属する21歳。小学3年生の頃から日本舞踊を習い始め、現在約12年目。小学6年生の頃に東日本大震災を経験し世界中からの支援を受け、その感謝の想いを日本の踊りで伝えることがこれからの夢。団体としては、2015年6月ハワイ公演、2016年3月ロンドン公演、2017年3月韓国公演を実現した。2017年8月からハワイの大学 Leeward Community Collegeに通い、2019年12月卒業。留学中には計50回、様々なイベントで踊りを披露。現在は同団体で講師を務め、世界各国でパフォーマンスを行うべく活動中。



和合亮一 (詩人)

1968年福島市生まれ。詩人。中原中也賞、晩翠賞など受賞。新聞各紙にてエッセイ、時評などを連載。最新刊は現代詩文庫「和合亮一詩集」「続和合亮一詩集」、詩集「QQQ」など。震災直後にTwitterにて福島の現状を詩の言葉で伝えた。それをまとめた詩集「詩の礫」が昨夏にフランスにて翻訳・出版され、第一回ニュク・レビュー・ポエトリー賞を受賞。フランスでの詩集賞の受賞は日本文壇史上初となり、国内外で大きな話題を集めた。近年はインドネシアや台湾、アメリカにて講演をした。福島県教育復興大使。福島大学応援大使。これまで何度も作品の朗読をしてきた安洞院は和合家の菩提寺であり、墓所には先祖代々が眠っている。

祈りの手紙朗読

テーマ:「震災」「未来」「いのち」「ふるさと」

募集して  
います  
手紙を

「震災」「未来」「いのち」「ふるさと」をテーマとした手紙を募集します。  
安洞院本堂にて俳優の紺野美沙子さんらが朗読いたします。  
手紙の相手は、生きている人でも、亡くなった人でも、あるいは故郷でも、大切な動物でも。  
皆様の想いに一人一人が耳を傾け、思いを分かち合い、  
三月十一日の夜を共に過ごしてまいります。

2月25日  
締切

### 【応募要項】

- 募集期間 令和2年2月25日(火) 当日消印有効  
テマ ①震災②未来③いのち④ふるさとのいずれかをテーマとしたもの  
体裁 400文字以内(郵送、FAX、メール添付、HPフォームのいずれか)  
撰者 和合亮一(詩人)  
表彰 特に心に残る手紙は3.11当日に本堂仏前にて朗読させていただきます。  
受賞 該当作品数点 賞状ならびに記念品贈呈

### 【記入事項】

- ①氏名 ②年齢 ③性別 ④メールアドレス(メールの方のみ) ⑤郵便番号  
⑥住所(マンション名まで含む) ⑦手紙の相手は誰ですか? ⑧手紙のタイトル(なくても可) ⑨手紙文面(400文字以内) ⑩匿名希望の方はペンネーム

### 【送付先】

- ◆郵送 〒960-8202 福島市山口字寺前5 安洞院「祈りの手紙」係  
◆メール tegami@311inori.net ※ワードファイル等で添付してください  
◆FAX 024-533-6785

### 【諸注意】

- 応募作品は当ウェブサイトのコンテンツとして掲載します。また、今後の展示や冊子等の各種媒体に掲載される場合があります。応募の時点で内容の公表に同意したものとみなします。
- 未発表のものに限ります。過去に類似のものに応募された作品や、SNS等に公開されたものは応募できません。
- 応募された作品の著作権を含む著作権のすべては当実行委員会(宗教法人安洞院)に帰属し、応募された作品は返却できません。
- 郵送の書式は問いません。葉書、手紙、原稿用紙、いずれでも結構です。
- メールの場合は本文・添付文書いずれかをお願いします(ワード、一太郎等。その他ソフトはご相談ください)



特に心に残る手紙は  
俳優の紺野美沙子さんが  
本堂にて朗読させていただきます

「祈りの手紙」の詳細・ご応募は HP : <http://311inori.net/> TEL024-534-0939(安洞院)

